

09年1月19日市警ニュース

JSS 和訳

安全警報、かっぱらい

1月16日金曜日、午後6時、警察にロートン通り・オリオールガーデン地区で起きたかっぱらいの通報があった。

報告によれば、

- ・ ロートン通りを南に向けて歩行中の女性のハンドバッグを男がかっぱらった。
- ・ 犯人は待たせていた白いフォードエコラインバンで逃走した。
- ・ 短時間後、ヤング通りから東に向かってバリオリ通りを歩行していた女性に後ろから男が近づき、ハンドバッグを盗ろうとした。
- ・ 被害者はハンドバッグを離さず、大声で助けを呼び、犯人はハンドバッグから手を離れた。
- ・ 犯人は白い荷物運搬用のバンに乗り込み、逃走した。

被害者2名には傷害は無かった。

トロント市警は皆さんに十分注意するよう呼びかけている。

捜査は継続中で、警察は犯人(達)または自動車の特定につき一般の協力を求めている。

情報を持っている人は。警察(電話 416-808-5300)、または匿名でクライムストッパーズ(電話 416-222-TIPS (8477)、オンライン www.222tips.com または text TOR のメッセージ CRIMES (274637))に連絡されたい。

JSS 説明

本件は典型的なかっぱらい事件と思われる。被害者に怪我などがなかったのは大変幸運なことであり、事件にたまたま遭遇した場合にとりうる対応の典型を示しているので、

訳出した。

始めの事件では、被害者はあまり抵抗しなかったようだ。これは、被害を大きくしないための鉄則の一つで、とくに周囲に人通りがない場合などは、犯人の要求に従い、一方で人相などを克明に記憶することを警察は奨めている。

更に、2件目の被害者は、被害を受け、抵抗し、かつ大声を上げて周囲の注意を引くことで、犯人の逃走を引き出している。人通りがある場所の場合、危険を感じたら大声をあげて周囲の注意を引くことはかっぱらいに限らず、多くのケースで被害を避けるために有効である。

ともあれ、人通りの少ない場所の一人歩きは、多くの危険を伴っている。日本の「安全神話」は、当地では通用しない。